

学校の教育目標

○考える人になろう	○心ゆたかな人になろう	○たくましい人になろう
○みんなのためにつくす人になろう		

学校経営方針（確かな学力向上にかかわる内容）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各教科の年間指導計画と評価計画の充実を図るとともに、適正な教育課程を実施する。</li> <li>2 国語、数学、英語において、少人数指導、習熟度別指導を展開し、個に応じた指導を充実させる。</li> <li>3 授業規律を徹底し、落ち着いた環境で授業を進め、基礎基本の確実な定着を図る。</li> <li>4 校内研究を充実させ、授業の質を高める。</li> <li>5 各教科等で言語活動を充実させる学習内容を工夫し、表現力を育む教育を推進する。</li> <li>6 各種検定の取組やサプリノートの活用を通し、自学自習の意識を向上させ、学習習慣の確立を図る。</li> </ol>
--

確かな学力向上に向けた具体的な取組

基礎的・基本的な知識・技能の習得	国語、数学、英語において、少人数指導、習熟の程度に応じた指導を展開する。また、他教科の一斉指導でも指導法の工夫を行い、個に応じた指導を充実させる。研究の成果である「授業スキル」「学習スキル」の向上を目指して生徒が分かる授業を実践し、知的な達成感を味わわせる。全教員が校内研究に則った教科の学習指導案を一つ以上作成し、校内研修会等で研究授業を実践する。
思考力・判断力・表現力の育成	生徒が授業で身に付けた表現力を活用する場面に授業及び行事や学年・学級の活動に意図的に設定し、言語活動の充実を図る。朝読書を中心とした朝学習の取組を充実させ、授業では身に付けることが難しい人の知識・知恵を補完させる。
主体的な学習態度の育成、学習への意欲	各教科で指導と評価の一体化を目指した指導計画・評価計画を作成する。始業前に落ち着いた環境で朝読書に取り組みせ、授業に臨む雰囲気づくりをする。全生徒対象の2年次の漢字検定、数学検定、3年次の英語検定に向けて、各学年及び当該教科は計画的に事前学習に取り組みさせる。また、各検定とも3年卒業期までに3級合格を目標とする。「生活と学習のサプリノート」を活用し、各生徒の家庭学習の状況を把握するとともに、保護者と連携を図り、家庭学習の習慣化を目指させ、自学・自習の能力を育成する。

「学習力サポートテスト」「学力向上を図るための調査」「全国学力・学習状況調査」及び1学期の学習状況の成果と課題

○結果分析から明らかになった成果

▲結果分析から明らかになった課題

	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に自分の考えや調べた内容を発信し、暗誦などに積極的な生徒が多い。</li> <li>○話す態度や声の大きさ、内容も端的で概ね達成できている。</li> <li>○条件に沿って段落を意識して書くことができる。また互いに読み合って意見が言える。</li> <li>○説明的文章の内容理解や心情把握については全国平均を上回っている。</li> <li>○漢字の読みはほとんどの生徒が達成できており、古典知識も身に付きつつある。</li> <li>▲基本的な学習習慣が身に付いておらず、提出物・授業規律に課題のある生徒がいる。</li> <li>▲人の話をしっかり聞いて、それに対して発言することが苦手な生徒がいる。</li> <li>▲作文を推敲してよい文章にすること、時と場に応じた作文の書き方は全国平均を下回る。</li> <li>▲全体を通して主題を見い出したり、要旨をまとめたりすることは未達成である。</li> <li>▲漢字の書き・文法事項について達成できていない生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発言・暗誦テストなど意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>○話す態度や声の大きさ、話す内容の聞き取りはおおむね達成できている。</li> <li>○テーマ作文については、TP○に応じて素早く丁寧に書ける生徒がほとんどである。</li> <li>○読み解く力についてはほとんどの生徒がよくできる。</li> <li>○古文の知識・理解と漢字の読みはほとんどの生徒が達成できている。</li> <li>▲与えられた課題には取り組むが、言語事項の知識・理解に苦手意識を示す生徒が多い。</li> <li>▲メモを活用しながらの聞き取り作業をすることが苦手である。</li> <li>▲文章から抜き出すこと、心情を考えて書くことが苦手な生徒がおり、時間がかかる。</li> <li>▲全体を通して主題を見いだしたり、要旨をまとめたりすることは未達成である。</li> <li>▲学習漢字（1006字）を作文の中で適切に使えない生徒がいる。語彙が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題・提出物に意欲的に取り組む生徒が多い。</li> <li>○話す声の大きさや態度は達成できている。</li> <li>○作文については与えられたテーマで時間内に書くことができる生徒が多い。</li> <li>○読み解く力についてはほとんどの生徒がよくできている。</li> <li>○古文の内容把握・語法についてはほぼ達成できている。</li> <li>▲与えられた課題には取り組むが、文章の推敲などあと一步の取り組みまではできていないことが多い。</li> <li>▲聞き取りテストになると、メモがうまく取れず、苦手意識を持つ生徒がいる。</li> <li>▲一部、文章の書き出しに時間のかかる生徒がいる。</li> <li>▲説明的文章の要旨をまとめたりすることには苦手意識を持つ生徒が多い。</li> <li>▲類義語や慣用的表現の語彙が少なく、作文の表現が単調になりがちである。</li> </ul>

<p>数 学</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に取り組む生徒が多く、発言もよくする。</li> <li>○自分の考えを数学的に表現することに生徒が慣れてきた。</li> <li>○負の数を含む整数の計算は、ほとんどの生徒が理解している。</li> <li>○ほとんどの生徒が「正負の数」について理解している。</li> <li>▲困難な問題には、すぐあきらめてしまう生徒が多い。</li> <li>▲問題の意図するところを読み取ることができない生徒がいる。</li> <li>▲分数、小数の計算がまだきちんと定着していない生徒がいる。</li> <li>▲「円周の長さ」「比例」は、達成度が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に課題に取り組みに、授業に集中する生徒が多い。</li> <li>○自分の考えを数学的に表現できるようになってきた。</li> <li>○「文字式の計算」「連立方程式の計算」は、ほとんどの生徒が理解している。</li> <li>▲文章題や難易度の高い問題では、あきらめてしまう生徒がいる。</li> <li>▲問題の意図するところを読み取ることが出来ない生徒が多い。</li> <li>▲「図形」に関する問題では理解できていない生徒が多い。</li> <li>▲「比例・反比例」など、数量関係が理解できていない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に授業に参加しており、課題の提出率は良好である。</li> <li>○自分の考えを数学的に表現することに慣れてきた生徒がいる。</li> <li>○多項式の計算は概ねできるようになっている。</li> <li>○数学でよく使う用語等、必要な知識は概ね身につけている。</li> <li>▲少人数を生かした授業展開に課題がある。</li> <li>▲生徒の実態に沿った課題を与える。</li> <li>▲応用問題の量が少なく感じる。</li> <li>▲平方根に関する理解が十分でない生徒がいる。</li> </ul>
<p>社 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲的に発言することができる。</li> <li>○地理的事象や歴史的事象を多面的に考察し、発言することができる。</li> <li>○資料や史料から、内容を読み取ることができる。</li> <li>○世界の国々、気温、歴史上の人物について、達成度が高い。</li> <li>▲課題の提出状況が良くない生徒が数名いる。授業規律が遵守できないクラスがある。</li> <li>▲論述する際、根拠を示して論じることが難しい。</li> <li>▲資料や史料の中から特徴を理解し、文章にまとめることが難しい。</li> <li>▲世界の国々、気温、歴史上の人物について、達成度が低い生徒の基礎・基本の定着が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律を遵守し、多くの生徒が意欲的に発言することができる。</li> <li>○地理的事象や歴史的事象を理解し、多面的に考察し発言することができる。</li> <li>○資料や統計から特色を読み取ることができる。</li> <li>○予習に取り組み、基本的な語句・用語を理解しようと取り組んでいる。</li> <li>▲一部に、自信がなく消極的な生徒もいる。</li> <li>▲自分の見解を論述する際、複数の根拠を示して論じることが難しい生徒もいる。</li> <li>▲読み取った内容を、読み手に分かりやすく文章にまとめることが難しい。</li> <li>▲基礎・基本の定着が困難な生徒が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業規律が遵守できている。多くの生徒が積極的に発言している。</li> <li>○グループ学習で、自己の考えを深めようと積極的に発言している。</li> <li>○資料や統計を読み取り、多面的に事象を捉えることができる。</li> <li>○予習に取り組み、基本的な語句・用語について理解しようと努めている。</li> <li>▲自らの見解を述べる発問に対し、消極的な生徒が見受けられる。</li> <li>▲他者の発言を受け入れ、深めようとする姿勢がまだまだ不十分である。</li> <li>▲多面的に捉えた事象を他と関連させてまとめることが困難である。</li> <li>▲反復学習が不十分なため、定着に至らない生徒が数名いる。</li> </ul>
<p>理 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの意見をもち、発表しようとする生徒が多い。</li> <li>○これまでの学習内容を基に、新たに学習した内容について考えることができる。</li> <li>○これまでの学習を基に、道具を扱い、実験することができる。</li> <li>○ノートに工夫をして、理解しやすく学習している生徒がいる。</li> <li>▲話を聞いて、何となく理解した気である生徒が数名いる。</li> <li>▲誰かの意見や、考えが出るまで待ってしまう生徒がいる。</li> <li>▲基礎的な道具の扱いが、定着していない生徒がいる。</li> <li>▲ノートをとる習慣が身に付いていない生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前向きに授業を受ける生徒が多く、質問に対して意欲的に発言することができる。</li> <li>○既習内容や日常生活から多面的に考察することができる生徒がいる。</li> <li>○ほとんどの生徒が実験の準備・片付けまできちんと行うことができる。</li> <li>○基礎・基本の用語を理解し、答えることができる。</li> <li>▲話をきちんと聞けない生徒やノートをとることができない生徒が数名いる。</li> <li>▲実験の目的を理解し、目的に沿った考察ができない生徒がいる。</li> <li>▲実験器具の使い方の習得が十分でない生徒がいる。</li> <li>▲基礎・基本の定着が困難な生徒が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関心が高く、発言する生徒が多い。</li> <li>○9割以上の生徒がハチュウ類と両生類の分類ができる。</li> <li>○7割以上の生徒が銅の加熱前後の質量の関係をグラフに表すことができる。</li> <li>○8割以上の生徒が季節風について理解している。</li> <li>▲授業内容を日常生活に結び付けることができない生徒が多い。</li> <li>▲7割強の生徒が電圧と電流の関係について定着していない。</li> <li>▲6割の生徒が天気図記号の作図について定着していない。</li> <li>▲6割の生徒が磁力線について定着していない。</li> </ul>
<p>英 語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアワークやグループ活動に対する関心・意欲は概ね達成できている。</li> <li>○教科書の英文を英語らしい発音、リズム、イントネーションを意識して発音できている生徒が多い。</li> <li>○まとまった英文や対話文を聞いて内容を理解することができる。</li> <li>○be動詞など簡単な文法の定着を図ることができる。</li> <li>▲間違えを恐れずに発表をしたり、英語を話したりできていない生徒もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアワークやグループ活動に対する関心・意欲は概ね達成できている。</li> <li>○自己紹介など簡単な英語を用いて表現をすることができる。</li> <li>○まとまった英文や対話文を聞いて内容を理解することができる。</li> <li>○過去形など簡単な文法の定着を図ることができる。</li> <li>▲間違えを恐れずに発表をしたり、英語を話したりできていない生徒もいる。</li> <li>▲基本的な文の構造が理解でき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に挙手や発言をする生徒が多く、大多数が授業に集中して取り組んでいる。</li> <li>○リスニング能力は高く、こちらの英語を聞き取ろうとする姿勢がある。帯活動で取り組んでいる、初見の短い英文に興味をもって短時間で読むことができる。</li> <li>○小テストの準備をした上で単語テストに取り組んでいる。</li> <li>○会話活動、スピーチ活動に積極的に取り組める。授業での発表も積極的であった。</li> <li>▲決まった生徒のみ挙手をして</li> </ul>

	<p>▲基本的な文の構造が理解できておらず、自己表現ができない生徒がいる。</p> <p>▲英語の質問を英語で答えることができない生徒がいる。</p> <p>▲基本的な単語、疑問詞などに付いていない生徒がいる。</p>	<p>ておらず、自己表現ができない生徒がいる。</p> <p>▲英語の質問を英語で答えることができない生徒がいる。</p> <p>▲基本的な単語、疑問詞など身に付いていない生徒がいる。</p>	<p>いる傾向がある。</p> <p>▲教科書以外の初見の英文は文量が多いと対応できていない。</p> <p>▲単語が書けない、読めない生徒への手立てが不十分であった。</p> <p>▲まとまった英文を考えて書く力が不足している。1、2年生の表現を忘れている。</p>
<p>調査以外の教科についての成果(○)と課題(▲)</p>	<p>&lt;音楽&gt;</p> <p>○意欲的な姿勢が見られ、課題提出や実技試験にも積極的に取り組むことができている。</p> <p>○創作活動における基本的な学習内容を理解して取り組むことができている。</p> <p>○歌唱表現や器楽演奏に必要な音楽要素を理解し、意欲的に表現する姿勢がみられた。</p> <p>○ワークシートを活用した学習に意欲的に取り組み、考えて鑑賞することができた。</p> <p>▲意欲的に取り組めない生徒への支援を適宜行う工夫をする。</p> <p>▲基礎の定着が不足しており、創作活動での自己表現を行えない生徒がいる。</p> <p>▲歌唱・器楽の基本的な歌唱法・奏法を理解していない生徒が見られる。</p> <p>▲言語活動を伴ったワークシートへの取り組みを積極的に行わせる。</p> <p>&lt;美術&gt;</p> <p>○美術作品に関心を持ち、意欲的に授業に取り組む生徒が多い。</p> <p>○テーマを与えると、それに沿ったアイデアを構想することができている。</p> <p>○どのクラスも主体的に制作に取り組んでいる。</p> <p>○生徒同士感じたことを素直に言い合える言語活動の環境が整っている。</p> <p>▲授業で使用する用具を忘れる生徒が固定化している。</p> <p>▲自由にアイデア構想を描くこと、作ることに苦手意識のある生徒が見られる。</p> <p>▲提出期限内に作品が完成できない生徒がいる。</p> <p>▲作品から自分が感じたことを、言語や文章で表す際、表現の幅が狭い生徒が見られる。</p> <p>&lt;技術・家庭&gt;</p> <p>○ほとんどの生徒が意欲的に丁寧に取り組んでいる。</p> <p>○上級生の作品や掲示物を参考にしたり、参考資料を見たりしながら効率よく作業を進めることができている。</p> <p>○安全に注意して道具や機器を取り扱っている。</p> <p>○基礎的な内容はほとんどの生徒が理解できている。</p> <p>▲作業後の片付けや清掃がおろそかになることがある。</p> <p>▲授業で学んでいることを生活に役立たせる工夫や技術と社会の関わりを考える力が定着してきていない。</p> <p>▲細かい作業に時間をかけてじっくり丁寧に取り組んでいない。</p> <p>▲作業を間違えてしまった際に、どのように修正・修復すべきか見通しが立てられない生徒がいる。</p> <p>&lt;保健体育&gt;</p> <p>(男子)</p> <p>○相互評価や教え合い活動の実践により、お互いが認め合う場面が多くでき、生徒一人一人が積極的に授業に取り組むことができている。</p> <p>○レポートや学習ノートを活用し、自己の動作や取り組み方に関する考えを深め、課題の見出しを行うことができている。</p> <p>○自己の技能を最大限に表現しようとする生徒が増えてきた。</p> <p>○各技能の動きの特性などは理解できており、活動に生かすことができている。</p> <p>▲チャイム整列や忘れ物などの基本的な授業規律が徹底できなかった。</p> <p>▲運動経験の不足や、知識が十分でないため、自己の課題を設定したり、工夫して運動に取り組めない生徒がいる。</p> <p>▲基礎体力が低く、基本動作が習得できない生徒に対して、基礎体力の増加への意識を高めることに課題がある。</p> <p>▲何となくは理解しているが、具体的に説明するまでには高まっていない。</p> <p>(女子)</p> <p>○チャイムでの整列、元気のよい挨拶など意識し、準備、片付けにも前向きに取り組もうとする生徒が多くなっている。</p> <p>○学び合いで、意見交換し、自分の課題を見付け取り組もうとする生徒が出てきた。</p> <p>○基本動作の習得のため、分解、反復の練習をしながら、記録への挑戦ができている。</p> <p>○内容などを理解し、テストだけでなく授業内で活用できる生徒が増えてきた。</p> <p>▲苦手な種目になり、積極的に参加できない生徒が数名いる。</p> <p>▲知識が十分でないため、自己課題を設定したり工夫したりできない生徒がいる。</p> <p>▲基礎体力が低く、運動経験が少ないために、基本動作が習得できない生徒がいる。</p> <p>▲正式名称やルールが理解できない、理解していても実技に活用できない生徒がいる。</p>		

昨年度の授業改善プランに基づく結果（○）と主な課題（▲）	
<p>○日常で使う言葉の類義語が定着してきた。問題解決型の学習を展開できた。レポートに自分の考えや考察を書くことができるようになった。地域や自国文化や伝統について理解が深まった。毎時間スピーチを実施することで、時事問題に目を向け見解を述べるのができた。小テストや放課後の補習により苦手意識が緩和した。個人の技能の向上につながった。視覚的教材を活用することができた。</p> <p>▲相互批評の回数が少なかった。視聴覚教材をさらに活用する。生徒作品の掲示計画を作成する。作業内容の説明をより簡潔に行うようにする。読書感想文であらすじの分量が多いため、簡潔に表現できるようにする。積極的に表現活動ができない生徒へのアシストを行う。</p>	

改善の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒が興味をもつ教材や題材を取り上げる。</li> <li>②魅力的な導入を目指す。</li> <li>③学習の見通し、本時の目標（めあて）を明示する。</li> <li>④課題解決的な学習、既習事項を活用する学習を取り入れる。</li> <li>⑤自分の考えを発表・交流する機会を設ける。</li> <li>⑥「できた」「わかった」を実感させる授業展開を工夫する。</li> <li>⑦「できたこと」「わかったこと」を振り返らせる。</li> <li>⑧日常生活や社会生活への広がりに関心をもたせる。</li> </ul>
-------	--

**【本校の授業改善に向けた具体的な方策】**

改善のための指導計画	<p>&lt;国語&gt; (1年) △各学級単純2分割・単元ごとの少人数授業を展開し、古文・漢文に早い段階から親しませる。また、文章読解のまとめとして言語活動を展開することで、論理的思考力・表現力の向上を図る。</p> <p>(2年) △並行読書に取り組み、教科書に掲載されている説明的な文章以外の文章に触れる機会を増やし、筆者の論じ方を学ばせ、読解力の向上を目指す。200字程度の作文に対する抵抗感を減らす。また、文章を視写し、様々な文体に触れる。加えて、他の生徒の書いた文章を相互批評し、表現力の向上を目指す。</p> <p>(3年) △教科書に未掲載の文章に触れるように、古典も含めて様々な文体に触れる機会を増やす。文章に応じた筆者の論じ方や作品の表現の仕方を学ばせ、読解力の向上を目指す。 △作文（200字程度）や名文の視写を通じて、表現力の向上を目指す。</p> <p>&lt;社会&gt; (1年) △主体的で対話的な深い学びに向けた、指導の工夫を行う。 △基礎・基本の定着を図る。</p> <p>(2年) △グループワークにより、考えを共有し深められる場面を設定する。 △発表の形態を工夫し、思考力や表現力を培う。 △基礎・基本の定着を図る。</p> <p>(3年) △ペアやグループ活動等により、考えを共有し深める場面を設定する。 △ディベートの実践により、根拠をもち、他者に訴える力を培う。 △発表形態を工夫し、言語活動の充実を図り、思考力や表現力を培う。</p> <p>&lt;数学&gt; (1年) △基礎・基本の定着と数学的な見方や考え方の力が向上するように、生徒の興味・関心を高め、意欲的に課題に取り組むような授業内容の工夫をする。</p> <p>(2年) △基礎・基本の定着と数学的な見方や考え方の力が向上するように、生徒の興味・関心を高め、意欲的に課題に取り組むような授業の工夫をする。 △言語活動、数学的活動の充実を図る。</p> <p>(3年) △基礎・基本の定着、特に計算力の充実を図る。 △自分の考えを数学的に表現できるよう、数学的活動を充実させる。</p> <p>&lt;理科&gt; (1年) △基礎・基本の定着を徹底し、家庭学習の習慣付けをする。 △ICT機器を活用し、様々な感覚に働きかけ、分かりやすい授業の工夫をする。 △話し合いや、考えを表現する時間をとり、思考力や表現力を高める授業を目指す。</p>
------------	---

	<p>(2年)  △基礎・基本の定着を徹底し、家庭学習の定着を図る。  △コンピュータなどのICT機器を活用し、分かりやすい授業の工夫をする。  △話し合いや表現の時間を設定し、思考力や表現力を高める授業を目指す。</p> <p>(3年)  △基礎・基本の定着を徹底する。  △コンピュータなどを活用し、イメージがわかりやすい授業の工夫をする。  △実験レポート作成時、考察の時間を確保し、思考力や表現力を高める授業を目指す。</p> <p>&lt;英語&gt;  (1年)  △読む、書く、聞く、話すの4技能が総合的に身に付くように授業を組み立てる。  △ペアやグループでの言語活動を行い、相互に教え合い、高め合う環境を整える。  △自分の意見や考えが発信できる力を養う。  △Can-Doリスト等を活用し、学習の目標を明確にし、振り返り活動を行う。</p> <p>(2年)  △読む、書く、聞く、話すの4技能が総合的に身に付くように授業を組み立てる。  △ペアやグループでの言語活動を行い、相互に教え合い、高め合う環境を整える。  △自分の意見や考えが発信できる力を養う。  △Can-Doリスト等を活用し、学習の目標を明確にし、振り返り活動を行う。</p> <p>(3年)  △基礎的な重要文法や表現に繰り返し触れることができるような授業を組み立てる。  △その日に学習したことを定着できるような家庭学習の仕組みを作る。  △教科書の内容だけでなく発展的な学習内容や創作活動を行い興味・関心を喚起する。</p>
<p>改善する指導内容  (教科、領域、観点等)</p>	<p>改善のための指導方法、指導体制</p>
<p>国語 (1年)</p>	<p>△プレゼンテーションの学習を通して、相手に伝わる工夫を考えさせる。  △話し合うことの基本(司会進行)について指導する。  △手紙の書き方を指導する時間と作文を推敲する活動時間を設定する。  △説明的文章の要旨、文学的文章の主題が導き出せるように、ワークシートや補充プリントの工夫を凝らす。  △言語事項(漢字や文法)の小テストを行う。  △一人一人の能力に応じた学習展開ができるようなワークシートを作成し、個に応じて指導ができるように講師との少人数クラス分け・T T形態を使い分ける。  △基礎・基本が十分理解できていない生徒を対象に、放課後や夏季休業期間中に補充学習教室を開設し、基礎・基本の定着を図る。  △作文指導の際に構成を考える時間を1時間確保し、準備の段階で個別に対応する。  △読解の中心文に迫る段階で発問のステップを増やす。  △話し言葉と書き言葉の復習の場を設ける。</p>
<p>国語 (2年)</p>	<p>△書く力を向上させるために、文章を書くための参考となる文章に触れさせる機会を増やす。短い文章を並行読書として取り組ませ、様々な文体に触れさせる。  △語彙が少ないため、表現が単調になりがちである。類義語を意識的に覚えさせ、類義語を適切に使い、表現の幅を広げるようにする。  △自分の書いた作文を推敲する機会を増やし、一度書いた作文の振り返りを行う。  △教育漢字の小テストを行い、作文の中でも漢字を使う割合を意識させる。  △資料や文章を読み取り、原稿を作成しそれを基にして言語活動を活発にさせる。  △日本語指導が必要な生徒がいる場合、細かな点も個別に対応する。  △話し言葉と書き言葉の特徴を復習し、作文の中で文章を適切に使い、話し言葉の表現が混同しないように指導する。  △古典文法の運用ができない生徒には机間指導の際、個別に指導する。</p>
<p>国語 (3年)</p>	<p>△読解力を向上させるために、説明的文章のうち、説明文、論説文など文種の違いに応じた読みに対応させるために、様々な文体を示すとともに読書に導く指導を行う。  △書く力を向上させるために、名文を視写するとともに、表現が豊かになるように、新出の言葉や類義語、対義語が文章中で適切に使えるように指導する。  △語彙を増やすために、辞書を引く機会を増やし、言葉の類義関係、対義関係を確認させ、表現する力に結び付ける。  △読書指導により、自分の語彙にない言葉に触れさせ、様々な文体を確認させる。  △教育漢字の定着を確認するために小テストを行う。  △発言が苦手な生徒に対しては、班での活動を中心に発言する機会を増やすとともに、自分の意見を短い文章で、理由を含めて説明できるように指導する。  △外国籍の生徒については、日本語能力別に個別対応をする。  △作文が苦手な生徒に対しては、机間指導の場合などに、個別指導を行う。  △作文指導では、漢字で書くべき表現が正しく書かれているかと学習漢字の定着度を確認し、個別に指導を行う。</p>

社会（1年）	<p>△班活動・グループ学習などで学び合いの機会を作ることにより、自分の思考を深め、それを表現する力を養う。</p> <p>△小テストやワーク・白地図等を用い、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>△机間指導、グループ編成の方法を工夫し、個に応じた学習指導を展開していく。</p> <p>△定期考査や小テスト、提出物から学習状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。</p>
社会（2年）	<p>△班活動・グループ学習の時間を確保し、学び合いの機会を設定する。</p> <p>△予習プリントや小テスト、ワークを用いて、基礎・基本と学習習慣の定着を図る。</p> <p>△統計や史料から読み取ったことを記述する機会を増やす。</p> <p>△時事問題に関するスピーチを行い、地理・歴史・公民の授業を有機的に結び付ける。</p> <p>△机間指導、グループ編成の方法を工夫し、個に応じた学習指導を展開していく。</p> <p>△定期考査や小テスト、提出物から学習状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。</p>
社会（3年）	<p>△班活動・グループ学習を設定し、学び合いの機会を充実させる。学習内容に応じて発表場面を設定し、思考力や表現力を高めていく。</p> <p>△予習プリントの改善をし、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>△資料や統計から読み取ったことを、文章で記述する場面を増やし、まとめる力を培う。</p> <p>△毎時間実施している時事問題に関わるスピーチと単元を結び付け、社会との関わりを意識させる。</p> <p>△個の理解状況を把握するように努め、個に応じた学習活動を展開していく。</p> <p>△単元テストや考査の結果から、学習の補充を実施する。</p> <p>△単元と日常生活を結び付け、生き方や在り方について考えさせる。</p> <p>△理解できていない内容について、生徒同士で教え合う場面を設定する。</p>
数学（1年）	<p>△復習や繰り返し演習する時間を十分に取、小テストなどを通して、基礎・基本の定着を図ることができるようにする。</p> <p>△数学に関するゲームを取り入れた授業を行うなど、生徒の興味・関心が高められるような工夫をしていく。</p> <p>△数学的な活動の充実のために、班での学習を取り入れた授業展開を行う。</p> <p>△個々の能力に応じた授業が展開できるようワークシートを工夫する。</p> <p>△単元の特性に応じて習熟度別クラスの人数やメンバーを変え、生徒の実態に応じた学習活動が展開できるよう少人数指導を工夫する。</p> <p>△基礎・基本が十分理解できていない生徒を対象に、放課後や夏休みを利用して補習教室を開き、基礎・基本の定着を図る。</p>
数学（2年）	<p>△復習や繰り返し演習する時間を十分に取、小テストなどを通して、基礎・基本の定着を図ることができるようにする。</p> <p>△数学に関するゲームを取り入れた授業を行うなど、生徒の興味・関心が高められるような工夫をしていく。</p> <p>△自分の考えを説明し、伝え合う活動を取り入れる。</p> <p>△個々の能力に応じた授業が展開できるようワークシートを工夫する。</p> <p>△単元の特性に応じて習熟度別クラスの人数やメンバーを変え、生徒の実態に応じた学習活動が展開できるよう工夫する。</p> <p>△十分理解できなかった生徒などには、放課後に補習教室を開き対応していく。</p>
数学（3年）	<p>△基礎・基本の定着、応用力の向上を図るため、少人数習熟度別指導を活用する。</p> <p>△計算の単元では毎授業において、前回の復習を含め演習を行う。</p> <p>△関数の指導では、ともなって変わる量を意識した指導する。</p> <p>△定理の証明の際、一方的な紹介ではなく、なぜそうなるのかを意識した指導を行う。</p> <p>△図形の単元では、様々な図形を扱い、試験での問題解決力を高める。</p> <p>△基礎クラスでは、机間指導をこまめに行い、個別指導を充実させる。</p> <p>△発展クラスでは、応用問題を適宜取り入れ、高校入試を意識した指導をしていく。</p> <p>△講師と協力し、生徒一人一人の学習の定着について情報を共有する。</p>
理科（1年）	<p>△家庭学習の内容を基にした小テストを行い、達成感を得られるような工夫を行い、学習意欲を高める。</p> <p>△ICT機器を活用し、より視覚的、聴覚的にも刺激を与え、学習に興味をもちながら、課題解決に取り組めるようにする。</p> <p>△学習課題に自らの意見をもたせ、話し合い活動を通して様々な意見を取り入れ、思考の幅を広げられるようにする。</p> <p>△予習、復習の方法を指導し、家庭学習の方法を理解させ、実施できるようにする。</p> <p>△生徒間で学び合いの時間をつくり、教わる側はもちろん、教える側も理解を深められるようにする。</p>

理科（2年）	<p>△随時小テストを行い、家庭学習の習慣付けおよび基礎的な知識の定着を図る。  △コンピュータなどのICT機器を活用し、視覚的な興味を喚起し、イメージをもたせる。  △実験では考えることを重視し、自らの考えを表現する習慣を付けていく。  △班での話し合いの時間を設け、意見を交換しながら考えることにより、より深い理解へとつなげていく。  △単元ごとに小テストを行い、苦手な生徒にも基礎・基本の定着を図る。  △学期ごとに補習を行い、苦手な生徒にも基礎の定着を図る。  △考えさせる発問の工夫や話し合いの時間を設け、生徒同士で質問や説明をすることで、できる生徒もできない生徒もより深い理解へとつながるようにしていく。  △問題演習の時間には、基礎が定着していない生徒への重点指導や早く終わった生徒への課題を準備することで個々の能力を伸ばしていく。</p>
理科（3年）	<p>△小単元ごとに、演習問題を行い、基礎的な知識の定着を図る。  △復習を都度行い、知識の定着を図る。  △デジタルコンテンツを活用し、視覚的な興味を喚起する。  △実験では考察を重視し、疑問に対して班ごとに考え、表現する習慣を付けていく。  △日常生活と関連付けた話題を加える。  △問題演習の時間には、基礎が定着していない生徒への重点指導や早く終わった生徒への課題を準備することで個々の能力を伸ばしていく。</p>
英語（1年）	<p>△ペアワークやグループ学習が行える機会を授業内に設定し、生徒同士で教え合えるような活動を重視して、基礎・基本の徹底を図られるようにする。  △基本的な知識が定着するよう、スペリングコンテスト、単語テスト、単元テスト等を計画的に行う。・基本文型が定着するように、音読、書く回数を増やす。  △ALTと実際の場面に即した言語活動を設定し、学習後にスピーキングテストで確認を行っていく。  △教科書の英文を、絵を見て内容を英語で説明する発表を通して、基本文定着と発表の技術の向上を図る。  △英語でやり取りしたり、発表したりする力を身に付けるため、繰り返し練習を組立て、パフォーマンステストを計画的に行う。  △辞書を引く活動を通して、語彙力の増強を図る。  △一人一人の能力に応じた学習展開ができるようなワークシートを工夫する。  △ALTや区講師の教員が机間指導を積極的に行い、音読、書くことの意欲を高めさせる。  △生徒同士教え合い活動ができるよう、座席の工夫を行う。  △書く活動など、小テスト等で定着が十分でない生徒に個別に課題を与える。</p>
英語（2年）	<p>△ペアワークやグループ学習が行える機会を授業内に設定し、生徒同士で教え合えるような活動を重視して、基礎・基本の徹底を図られるようにする。  △基本的な知識が定着するよう、スペリングコンテスト、単語テスト、単元テスト等を計画的に行う。  △基本文の提示を実際に使う例文になるように工夫する。  △帯活動で、基本文の定着、英語の質問に答える力、簡単なまとまった英文を読む力を養えるよう、繰り返し練習を行う。  △ALTと実際の場面に即した言語活動を設定し、学習後にスピーキングテストで確認を行っていく。  △教科書の英文を、絵を見て内容を英語で説明する発表を通して、基本文定着と発表の技術の向上を図る。  △英語でやり取りしたり、発表したりする力を身に付けるため、自分の意見や考えを表現する場面を設定し、繰り返し練習を組立て、パフォーマンステストを計画的に行う。  △一人一人の能力に応じた学習展開ができるようなワークシートを工夫する。  △ALTや区講師の教員が机間指導を積極的に行い、音読、書くことの意欲を高めさせる。  △生徒同士教え合い活動ができるよう、座席の工夫を行う。  △書く活動など、小テスト等で定着が十分でない生徒に個別に課題を与える。</p>
英語（3年）	<p>△宿題をチェックする際にスタンプカードを使用し、視覚的に成果がわかるよう指導し家庭学習を習慣付ける。  △帯時間で、英会話、初見の読解、ライティングに取り組みせ定着させていく。  △教科書の内容を発展的に学習できるよう、教材の開発を行い、動画や資料を用いた授業を行う。  △まとまった英文を書けるように重要表現の復習を行い、日々の帯活動や表現活動の時間を確保していく。  △机間指導を行い、一人一人の力を把握し必要な声かけを行う。  △授業内で必ず一人1度以上は発言できるような発表の場を設ける。  △少人数を生かしペアやグループ等様々な授業形態を取り入れ一人一人が役割を果たし、力をつける授業を行う。  △非常勤講師の教員とは事前、事後で授業プランについて話し合う。生徒の力に合った授業が展開できるよう、生徒の実態や情報交換を行い、より良い授業作りを行う。</p>
評価活動の工夫	<p>○中間考査の解答用紙に観点別の評価を行い、各家庭に通知するとともに、必要に応じて学習相談（二者面談）を行い、学力の向上を図る。  ○学習目標を明確にし、それに基づいた生徒の自己評価活動を取り入れる機会を増やす。</p>

<p>家庭や地域との連携の工夫</p>	<p>○「生活と学習のサブノート」を活用し、家庭学習の充実と習慣化を図るとともに、保護者と連携した学力向上を図る。 ○学校だより等を通して、学力向上を図る学校の姿勢を、地域・保護者に積極的にPRするとともに、理解と協力を求める。</p>
<p>検証方法</p>	<p>&lt;国語&gt; (1年) △定期テスト・領域小テスト・言語活動の授業記録、相互評価カード・授業評価アンケート、研究授業（客観的な検証） (2年) △定期テスト・学習漢字の小テスト、音読・暗誦テスト、ワークシート等の提出物、相互評価カード・授業評価アンケート、研究授業（客観的な検証） (3年) △定期テスト・小テスト（漢字・暗誦など）、提出物（ワークシート・作文）、相互評価シート・授業評価アンケート</p> <p>&lt;社会&gt; (1年) △各考査や小テストにおいて、領域ごとの分析を行い、改善状況を検証する。 (2年) △各考査や小テストにおいて、領域ごとの分析を行い、改善状況を検証する。 (3年) △定期考査において領域毎の分析をし、実践法を振り返り、改善状況を検証する。</p> <p>&lt;数学&gt; (1年) △授業内での小テストや定期考査の結果などから生徒一人一人の学習の定着度を把握する。 (2年) △授業内での小テストや定期考査の結果などから生徒一人一人の学習の定着度を把握する。 (3年) △毎週の課題や、授業での宿題を基に授業の振り返りを行う。 △定期考査を中心に、生徒の学習内容の定着を分析する。</p> <p>&lt;理科&gt; (1年) △小テスト・定期考査の結果、授業中の課題プリント、実験レポート、ノート、話し合い活動・発表の様子、学び合い学習の様子 (2年) △小テストや定期テストの結果、授業での行動観察や実験レポート、ワークやノートのチェック (3年) △小テストや定期テストの結果、授業での行動観察や実験レポート、ワークやノートのチェック</p> <p>&lt;英語&gt; (1年) △授業内で生徒の学習を観察する。 △毎時間の振り返り活動の様子を観察する。 △定期考査で観点ごとの学習の定着度を把握する。 △定期的に振り返り活動を行う。 (2年) △授業内で生徒の学習を観察する。 △毎時間の振り返り活動の様子を観察する。 △定期考査で観点ごとの学習の定着度を把握する。 △定期的に振り返り活動を行う。 (3年) △授業内での理解度の確認、小テストや定期テストの結果、宿題や授業内の課題への取り組みと成果、授業内での観察やワークシートの記入</p>

**【学力向上を支えるその他の取組】**

- 「学習の手引き」（年間指導計画）の保護者へ配布し、説明する。
- 全教科において研究授業を実施する。
- 全教員が指導案を作成し、管理職の授業観察を行う。
- OJT体制の下、主幹・主任教諭が担当の若手教員の授業を観察し、指導・助言を行う。
- 生徒・保護者による授業アンケート、学校評議員、外部評価委員による授業観察及び授業評価を行う。
- 朝読書を実施し、読解力・語い力・思考力・想像力を育てる。